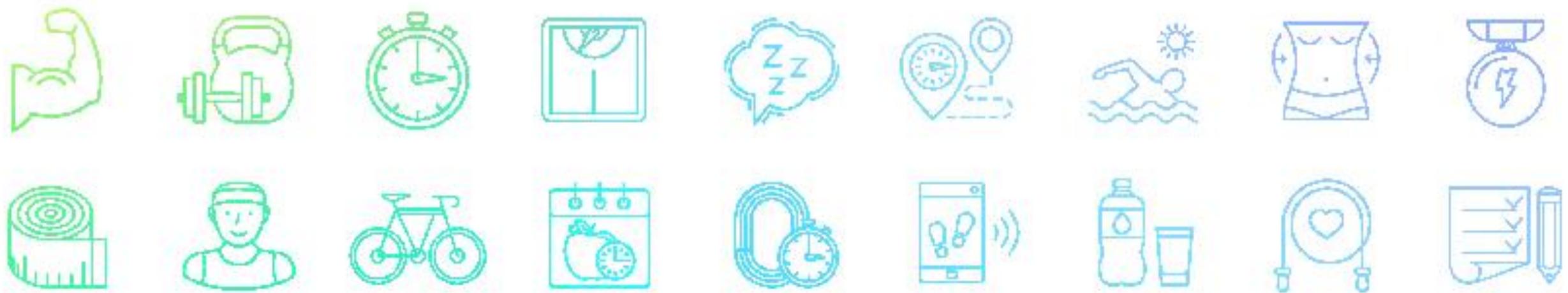


健康

2024

白書





1

健康経営ビジョン

2

H/MPが目指す健康経営

3

定点観測 2023年度版 クラスター

4

健診結果から見るH/MP社員の特徴



# 健康経営ビジョン

# 健康経営ビジョン ～生活者発想でウェルビーイングの未来へ～



「健康経営優良法人2024」の認定をいただきました。

博報堂・博報堂DYメディアパートナーズは、従業員が仕事だけでなく、ひとりひとりの生活全般にわたって「幸せ」を感じられるようにウェルビーイングを重視した健康経営にこれからも実践します。個人のウェルビーイングを、以下の3つのレイヤーで考えています。

## 1 社員のウェルビーイングの源泉

生活者である社員の健康な心と体がより豊かな生活と自身の成長につながると考えています。

## 2 会社の生産性の源泉

ひとりひとりの豊かな生活は働き方の質の向上につながると考えています。

## 3 社会へのクリエイティブ創造の源泉

豊かな生活者であることが、社会に役立つクリエイティブ創造につながると考えています。

従業員ひとりひとりがウェルビーイングを実現できる職場環境を創ります。博報堂・博報堂DYメディアパートナーズの健康経営は、生活全般に寄り添い、未来のウェルビーイング実現のための投資です。

[ 3つの健康経営のレイヤー ]



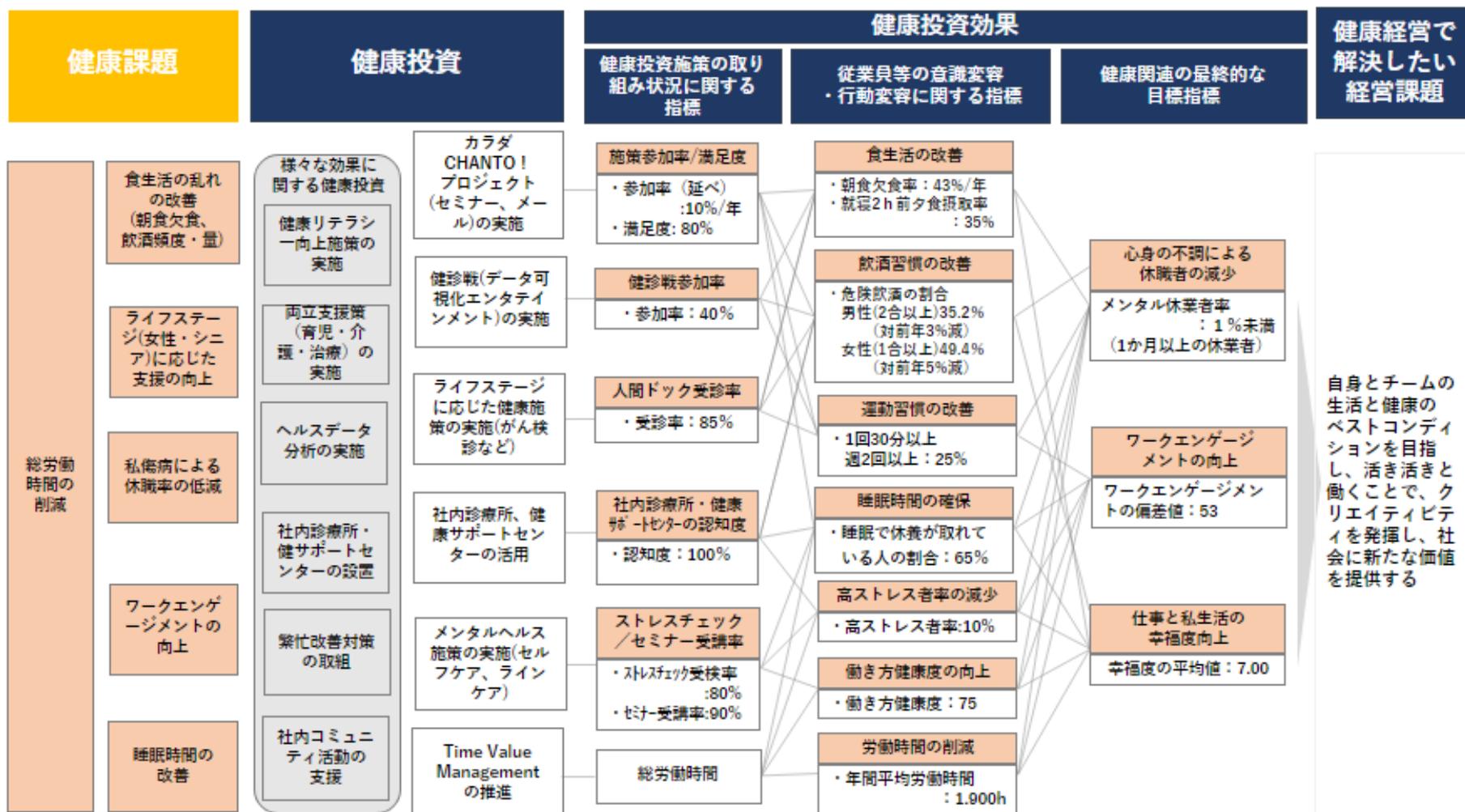


## H / M P が目指す健康経営

# H/MPが目指す健康経営戦略

健康経営、健康投資を効果的・効率的に行うにあたって、会社が解決したい経営課題やその経営課題解決につながる健康課題を特定し、その課題を解消する健康の保持・増進に関する取組までの結びつきを見える化し、ストーリーとして表現したものが健康経営戦略マップです。

【参考】経済産業省 健康投資管理会計ガイドライン





# 定点観察 2023年度版 クラスター

# 定点観察 2023年度版 クラスター

2021年の健康白書で登場したクラスター。 あなたはどのクラスター？

全体の  
6.0%



## 趣味のためにはカラダも資本！我が道をゆく マイペース運動社員

趣味に力をいれてマイペースに生きていたいタイプ。ジム通いやウォーキング・ランニングに積極的でカラダ作りはばっちり◎ その反面、朝食を抜いてしまったり、食事への意識が不安な一面も。

全体の  
55.0%



## 仕事も私生活もどちらも充実させたい 心身調和キラキラ社員

無理なく生活習慣に気を配れている優等生タイプ。仕事もチームで力を合わせて楽しく取り組み、私生活とのバランスもとれていて幸福度高め。間食の多さが要注意！

全体の  
9.3%



## 没頭すぎて肩こりやむくみが・・・ 職人型不調社員

仕事にやりがいを感じ、自ら学びを深める職人型社員。一生懸命になりすぎるがあまり、食生活は乱れ、睡眠時間を削りがち。健康関心は高く、改善しなきゃと思っているのに行動に移せていない。

全体の  
10.0%



## 忙しすぎ？生活習慣ダントツ最下位！ 健康後回し社員

仕事に対する意識が高い健康後回し社員。日々の仕事の忙しさに加えて飲み会も多いせいか、生活習慣が全項目で課題あり！なんとかしなきゃと自覚しつつ、つつい後回しになっている。

全体の  
19.7%



## 仕事もプライベートもゆとりが大事！ 安定志向のんびり社員

健康でいたいけれど無理はしたくない。つつい今の習慣を続けてしまうのんびり社員。3食きっちりと食べ、食生活には気を付けているが、運動不足や飲酒の多さが目立つ。健康状態の悪化が顕在化。

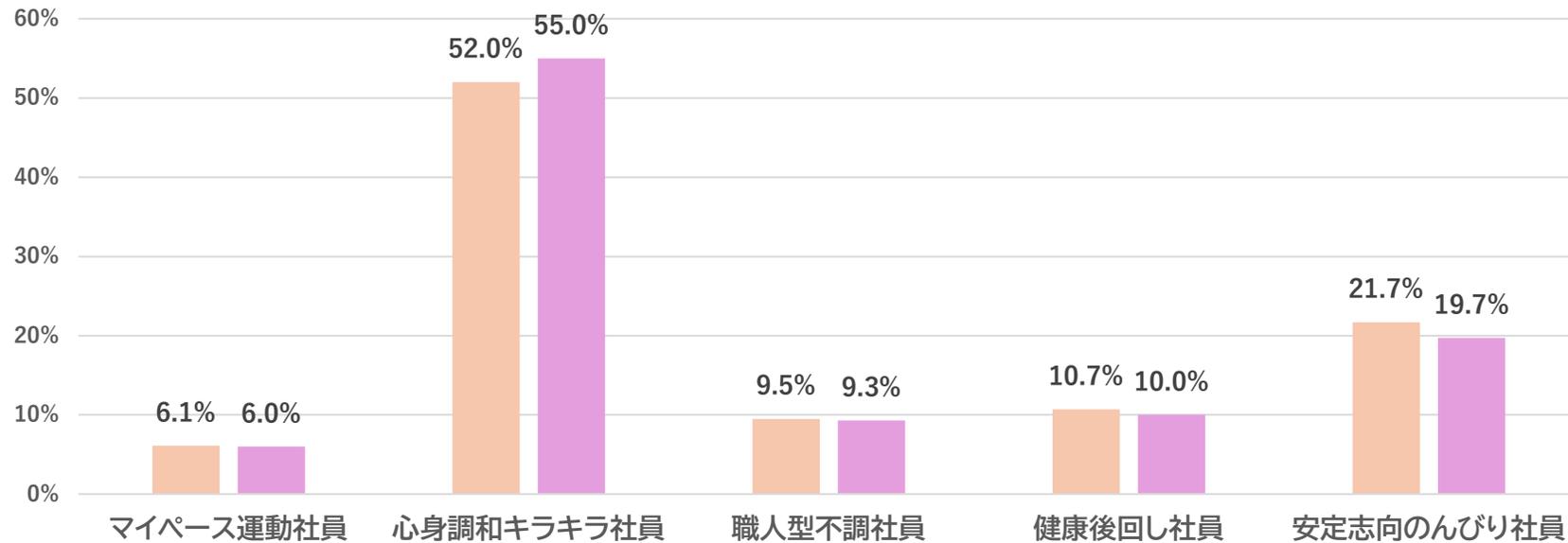
◆2023年度健診アンケート回答者(n=1147)をもとに作成。

# 前年度との比較

22年度と比較すると、「心身調和キラキラ社員」が約3%増加。

生活習慣が改善した社員が若干ではありますが、増えた可能性あり！

クラスタ割合 前年度比較



■ 2022年度 ■ 2023年度



4

## 健診結果から見るH/MP社員の特徴

# 健診結果、健康施策の経年データ

健診結果を経年で見ると、BMI・脂質・糖代謝のD/E判定者が22年度と比べて23年度は増加しています。

コロナ禍を経て、徐々に外食の頻度も増えていき、その結果が健診結果に表れてしまった可能性があります。

項目		2021年度	2022年度	2023年度
定期健康診断 D/E判定率※ (BMIを除く)	BMI（肥満）25以上の割合	20.8%	21.9%	22.1%
	脂質（LDLコレステロール）	12.0%	6.9%	10.1%
	肝機能（ $\gamma$ -GTP）	3.4%	3.8%	3.6%
	尿酸	6.0%	6.7%	6.7%
	糖代謝（HbA1c）	2.5%	2.8%	4.3%
	血圧	5.2%	6.7%	6.1%

健康改善に 向けた施策の 実施状況	定期健康診断受診率	100%	100%	100%
	健診戦参加人数	1087	1049	1366
	健診戦参加者の健康維持・改善率	75.0%	74.4%	75.1%
	ハイリスク者への産業医面談実施率 (保健指導、治療継続確認)	95.3%	91.8%	92.4%
	精密検査受診率	86.1%	81.1%	70.2%
	ストレスチェック受検率	80.4%	75.6%	80.5%
	ストレスチェック 非高ストレス者率	89.4%	90.5%	91.0%

# 生活習慣、パフォーマンス指標に関する経年データ

朝食を抜く人がH/MP社員には多いことが、課題のひとつです。

朝食を気軽に摂取できるイベントを2024年度には開催する等、朝食を食べることへのメリットを感じてもらえるよう機会を提供しています。

分類	生活習慣に関する内容	2021年度	2022年度	2023年度	目標値
食事	就寝前2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある	35.1%	37.2%	37.5%	35%
飲酒	全く飲まない・適性飲酒量※1での飲酒習慣（量・頻度）である（男）1日2合未満、（女）1日1合未満	-	（男）67.8% （女）56.4%	（男）61.8% （女）45.6%	（男）64.8% （女）50.6%
運動	1回30分以上の汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施している	20.9%	21.8%	23.9%	25%
睡眠	睡眠で休養が十分取れている	70.3%	68.1%	65.6%	70%
パフォーマンス	プレゼンティーズム※2	68.4	69.2	68.3	-
	ワークエンゲージメント※3	51.9	52.7	52.9	-

※1 （男）1日2合未満、（女）1日1合未満

※2 WHO-HPQの絶対的プレゼンティーズムを元に、設問は10件法（0～10/11～20/・・・/91～100）の形式で従業員調査を実施。各選択肢評点の中央値を代表値として扱い、回答者の平均を算出（最小5点、最大は95.5）

※3 新職業性ストレス簡易調査票のワーク・エンゲージメントに関する2項目を測定。2項目のスコア（1=ちがう、2=ややちがう、3=まあそうだ、4=そうだ）の全従業員の平均スコアを、全国平均を50として偏差値で測定。

**社外秘**

2024年9月発行

発行 人事室健康推進部

監修

人事室健康推進部

協力

- 健診戦事務局
- 産業医
- 健康サポートセンター